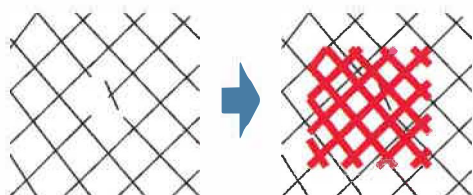


# 防鹿柵の補修方法

防鹿柵の破損を見つけた際には、その場ですぐに補修するのが最も効率的です。点検作業にはアンカー杭や小さく切ったネットなど、持ち歩いても負担にならない資材を持って行きましょう。

同じ場所が繰り返し壊されることもあるので、補修にあたっては原状回復ではなく「強化」することが大切です。1日で補修しきれないほどの破損が発生する場合は、点検の間隔を短くする必要があります。場所ごとに最適な間隔を見つけましょう。



新しいネットで当て布のようにして補修



針金でロープと頂部を連結したアンカー杭

裾ロープを持ち上げられてもアンカー杭が抜けにくくなります。

## 補修というより強化

- ネットの破れはとじ合わせるだけでなく、当て布のように補修するのが効果的です。細かな破れが多い場合には支柱間のネットを丸ごと一枚当て布方式で補強しましょう。
- 何度も柵下端が破損する場合には、
  1. アンカー杭を増やす
  2. より長い杭を使う
  3. 杭の頂部と裾ロープを針金で固定するといった方法をお試しください。

※防鹿柵の各部材の強度評価については、参考資料5をご参照ください。

## 参考資料

1. 森林整備センター(2020)シカ害防除マニュアル～防護柵で植栽木をまもる～。  
[https://www.green.go.jp/gijutsu/pdf/zorin\\_gijutsu/deer\\_pest\\_control\\_manual.pdf](https://www.green.go.jp/gijutsu/pdf/zorin_gijutsu/deer_pest_control_manual.pdf)
2. 大谷・米田(2023)シカ・カモシカ生息地のスギ造林地における防護柵管理の一事例ーどの程度の見回りをしている直すか。森林防疫, 72(2):11-20
3. 大谷ら(2023)西日本の皆伐・新植地に残る痕跡を使ったシカ出現頻度や苗木被害の予測。森林防疫, 72(1):14-21
4. Yamagawa et al. (2023) Assessing the damage caused by deer on young trees in a Sugi (*Cryptomeria japonica*) plantation based on field signs. Journal of Forest Research, <https://doi.org/10.1080/13416979.2022.2148862>
5. 大谷・米田(2022)シカ防護柵に使われる各部材の強度試験ー支柱の折り曲げ・アンカー杭の引き抜き・裾ロープの引き上げー。森林総合研究所研究報告, 21(3):229-238

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所  
〒780-8077 高知市朝倉西町 2-915

編集・発行 四国支所

発行日 2023(令和5)年3月3日

お問い合わせ先 四国支所地域連携推進室

電話 088-844-1121

e-mail: [koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp](mailto:koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp)

本書の引用記載 大谷達也(2023)「効率的にとりくむ防鹿柵の保守管理」。

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所, 4pp.

※本誌掲載内容の無断転載を禁じます。